

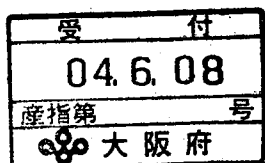
様式第二号の八（第八条の四の五関係）

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 4 年 6 月 8 日

大阪府知事 殿



提出者
住 所 大阪市北区紅梅町2-18南森町共同ビル
氏 名 松井建設株式会社大阪支店
執行役員支店長 忽那次男

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 06-6356-5121

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	松井建設株式会社大阪支店
事業場の所在地	大阪市北区紅梅町2-18南森町共同ビル
計画期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	完成工事高 7, 567百万円
③従業員数	71人 (2022年3月31日現在 大阪支店)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別添 1 処理工程図のとおり

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)
別添 2 管理体制図のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	排 出 量	0.36 t	6.83 t
	（これまでに実施した取組） ・梱包材の削減 ・工場加工の推奨 ・養生削減 ・ALC、木材 プレカット化推奨		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	排 出 量	0.324 t	6.147 t
	（今後実施する予定の取組） ・簡易梱包推奨・プレカット加工推奨		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・躯体施工時、5品目、仕上げ施工時、8品目を基本に分別 ①コンクリートがら ②金属くず ③木くず ④廃プラスチック類 ⑤混合（可燃・不燃）⑥段ボール ⑦ボード類 ⑧缶類
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） ・狭小作業所における集積場の整備 ・混合廃棄物の削減（分別できるものは分別箱に集積指導）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
0.6 t	96.95 t	1.92 t	0 t
【目標】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
0.54 t	87.255 t	1.728 t	0 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
9 t	31.5 t	150.74 t	8885.88 t
【目標】			
ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
8.1 t	28.35 t	135.666 t	7997.292 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
208 t	3.02 t	76.18 t	21 t
【目標】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
187.2 t	2.718 t	68.562 t	18.9 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
廃蛍光灯	—	—	—
0.5 t	— t	— t	— t
【目標】			
廃蛍光灯	—	—	—
0.45 t	— t	— t	— t

(第3面)

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

(第3面)

【前年度（令和 3 年度）実績】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

【前年度（令和 3 年度）実績】			
ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
— t	— t	— t	— t
【目標】			
ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第3面)

【前年度（令和 3 年度）実績】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第3面)

【前年度（令和 3 年度）実績】			
廃蛍光灯	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃蛍光灯	—	—	—
— t	— t	— t	— t
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
廃蛍光灯	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃蛍光灯	—	—	—
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	0.36 t	6.83 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	－ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.36 t	6.83 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
	(これまでに実施した取組) ・委託基準に従って、産業廃棄物許可業者に委託契約している。 ・適正に処理されているかチェックし、良好な業者を選定している。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
－ t	－ t	－ t	－ t
【目標】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
－ t	－ t	－ t	－ t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
0.6 t	96.95 t	1.92 t	－ t
－ t	41.4 t	－ t	－ t
0.6 t	96.95 t	1.92 t	0 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度（令和 3 年度）実績】

ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
－ t	－ t	－ t	－ t

【目標】

ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
－ t	－ t	－ t	－ t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和 3 年度）実績】

ガラスコンクリート陶磁器くず	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
9 t	31.5 t	150.74 t	8885.88 t
9 t	－ t	－ t	4090 t
9 t	31.5 t	150.74 t	8885.88 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第4面)

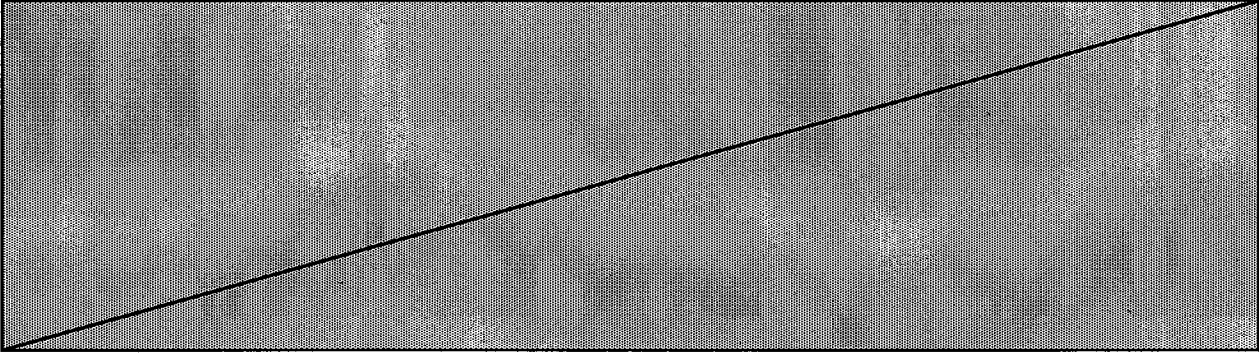
自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
— t	— t	— t	— t
【目標】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設混合廃棄物
208 t	3.02 t	76.18 t	21 t
80 t	— t	— t	— t
208 t	3.02 t	76.18 t	21 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
廃蛍光灯	—	—	—
— t	— t	— t	— t
【目標】			
廃蛍光灯	—	—	—
— t	— t	— t	— t
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
【前年度（令和 3 年度）実績】			
廃蛍光灯	—	—	—
0.5 t	— t	— t	— t
0.5 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
0.5 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃プラスチック
	全 処 理 委 託 量	0.324 t	6.147 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	－ t	－ t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0.324 t	6.147 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	－ t	－ t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	－ t	－ t
	(今後実施する予定の取組) ・電子マニフェスト対応可能な処理業者を尊重するとともに、優良業 者を選定するよう指導していく。		
※事務処理欄			

【目標】			
紙くず	木くず	繊維くず	金属くず
0.54 t	87.255 t	1.728 t	— t
— t	— t	— t	— t
0.54 t	87.255 t	1.728 t	0 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t



(第 5 面)

【目標】			
スコンクリート陶磁器	廃石膏ボード	がれき類	コンクリート破片
8.1 t	28.35 t	135.666 t	7997.292 t
－ t	－ t	－ t	3681 t
8.1 t	28.35 t	135.666 t	7997.292 t
－ t	－ t	－ t	－ t
－ t	－ t	－ t	－ t

(第 5 面)

【目標】			
アスコン破片	安定型建設系混合廃棄物	管理型建設系混合廃棄物	石綿含有建設系混合廃棄物
187.2 t	2.718 t	68.562 t	18.9 t
72 t	— t	— t	— t
187.2 t	2.718 t	68.562 t	18.9 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

【目標】			
廃蛍光灯	—	—	—
0.45 t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t
0.45 t	0 t	0 t	0 t
— t	— t	— t	— t
— t	— t	— t	— t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別添1 処理工程図

1	産業廃棄物許可業者との処理委託契約の締結
	委託先の許可内容の確認
	事業の範囲、許可者、許可の有効期限
	取扱い品目確認、運搬車両確認、
	処理場の種類、能力確認
	↓
2	コンテナ、産廃集積袋 の 分別配置
	↓
3	作業所から発生した産廃をコンテナに整理して集積する
	↓
4	委託契約した産業廃棄物許可業者(収集運搬・処分)への委託処理
	紙manifestの交付、追跡調査、manifestを電子manifestに追加登録

別添 2 管理体制図

1	本社 経営層	
2	本社 建設本部 安全品質環境部 品質環境課	環境方針
	↓	
3	支店 安全品質環境部 品質環境課	作業所への助言、指導、処理計画の審査・月次チェック・目標実績確認・委託処理契約
	↓	
4	作業所 統括安全衛生責任者・環境対策責任者・廃棄物排出事業所責任者・自衛消防隊長	処理計画作成・処理業者選定・委託内容確認・分別コンテナ、専用袋設置、マニフェストの交付、確認、集計、報告、処理状況確認、処理業者へのチェック指導。
	↓	
5	作業所 元方安全衛生管理者・環境対策担当者・廃棄物排出事業所担当者・自衛消防副隊長	
	↓	
6	作業所 所員 環境対策担当者・廃棄物排出事業所担当者	
	↓	
7	職種毎協力業者・産業廃棄物処理業者	